

# 【NRCLレポート】 花粉症／花粉アレルギー調査

## Part2：花粉症／花粉アレルギーの人の調査結果編

2017年3月調査結果

 **日本リサーチセンター**  
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1  
TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470  
<http://www.nrc.co.jp/>

## ◆NRCLレポート

日本リサーチセンター(NRC)では、**全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査(NOS)**を、毎月定期的を実施しております。本レポートは、NOSを利用した自主調査「**花粉症/花粉アレルギー**」についての紹介です。

この調査は、2003年3月に初めて実施し、その後、2010年以降毎年3月に実施している時系列調査です。サンプル数は、エリア・都市規模と性年代構成を日本の人口構成比に合致するよう割付をおこないました。また、対象エリアは日本全国、年代は15歳から79歳までと対象者の幅を広く設定していますので、全体結果は日本人全体の実態や意識を反映しているとお考えください。

調査結果は、「Part1:全体編」(**発表済み**)と「Part2:花粉症/花粉アレルギーの人の調査結果編」(**本篇**)の2つに分けてご紹介します。

## ◆調査内容/項目

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| ①花粉症/花粉アレルギーの有無           | ②花粉症/花粉アレルギーになった時期          |
| ③花粉症/花粉アレルギーの症状がある月       | ④花粉症/花粉アレルギーの症状の程度          |
| ⑤今シーズン病院に行ったか             | ⑥花粉症/花粉アレルギーに対して具体的に行っている対策 |
| ⑦花粉症/花粉アレルギーの対策はいつ頃から始めたか | ⑧マスクを付けることに抵抗感を感じる程度        |
| ⑨「舌下免疫療法」/認知、治療意向、推奨意向    | ⑩最近3カ月間に花粉対策でとった行動          |
| ⑪最近3カ月間で花粉対策用に購入した商品      | ⑫マスクを付けることについて              |

## ◆主な結果は以下の通りです。

### ①花粉症/花粉アレルギーの有無(全数ベースの結果)

- 2003年と2017年の2期での変化を見ると、25%～38%で13ポイント増加している。

※以下の項目は、いずれも花粉症/花粉アレルギーの症状がある人ベースの結果

### ③花粉症/花粉アレルギーの症状がある月

- 「2月」が48%で、昨年から5ポイント増加している。

### ④花粉症/花粉アレルギーの症状の程度

- 「目のかゆみ・充血などの目の症状」について「症状なし」と回答した人が16%で、昨年から6ポイント増加している。

### ⑦花粉症/花粉アレルギーの対策はいつ頃から始めたか

- 2013年では「3月上旬以降」が34%いたが、2017年は19%と15ポイント減少しており、花粉症シーズンのピークを迎えてから対策をするという人は減っている。

### ⑧マスクを付けることに抵抗感を感じる程度

- 「かなり抵抗感がある」と回答したのは5%。昨年から4ポイント減少しており、強い抵抗感を示す人はやや減ったものの、「抵抗がある・計」(「かなり抵抗感がある」+「やや抵抗感がある」)では2015年以降30%前後を推移している。

### ⑨「舌下免疫療法」/認知、治療意向、推奨意向

- 治療意向については、「治療を受けてみたことはないが、受けてみたいと思う」が20%で、昨年から7ポイント減少している。
- 推奨意向については、「勧めたい・計」(「ぜひ勧めたいと思う」+「まあ勧めたいと思う」)が32%で、昨年から9ポイント減少している。

### ⑪最近3カ月間で花粉対策用に購入した商品

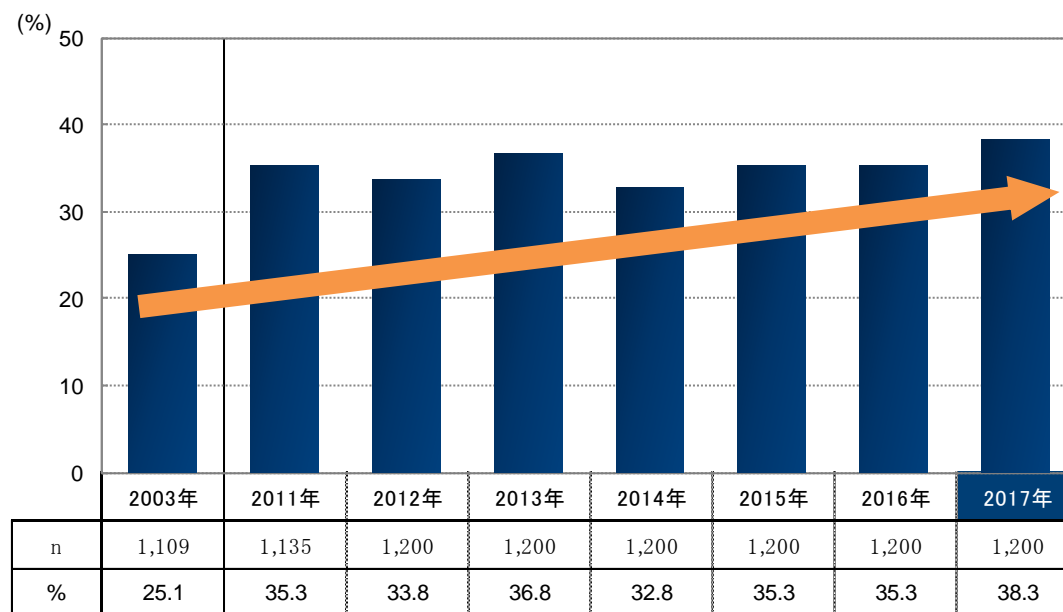
- 2017年は「花粉症による鼻への負担がかかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が27%と最も多く、昨年から5ポイント増加している。

### ⑫マスクを付けることについて

- 「恥ずかしい・格好悪い」については継続的に「そう思わない」が増加しており、2011年は63%だったのが、2017年は81%になっている。

- ◆「花粉症/花粉アレルギー」について、2003年のデータを加えたうえで時系列変化を見たところ、2003年は25%だったが、2011年以降は33～38%となっている。
- ◆2003年と2017年の2期での変化を見ると、25%～38%で13ポイント増加している。

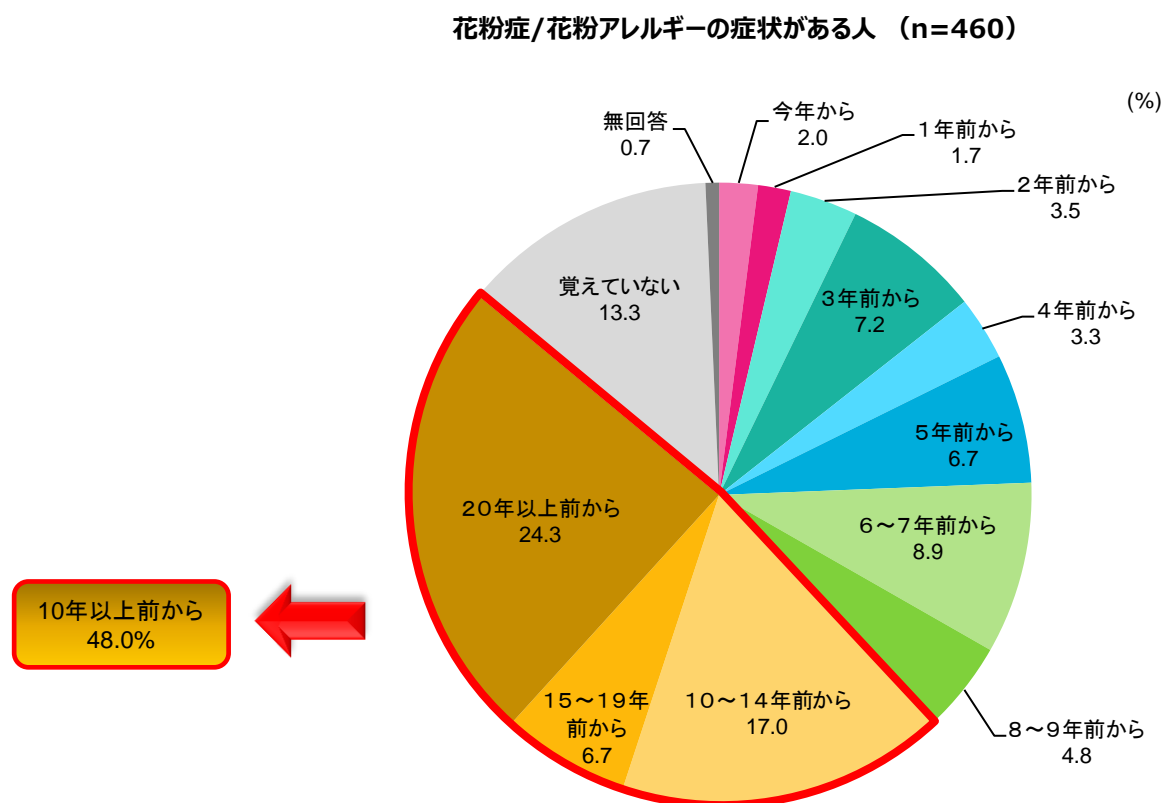
## ■ 全体(n=1,200) 時系列



◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、いつから「花粉症/花粉アレルギー」になったかを聞いたところ、「10年以上前」から症状があると回答した人が48%と約半数を占める。

Q いつから花粉症/花粉アレルギーになりましたか。(単数回答)

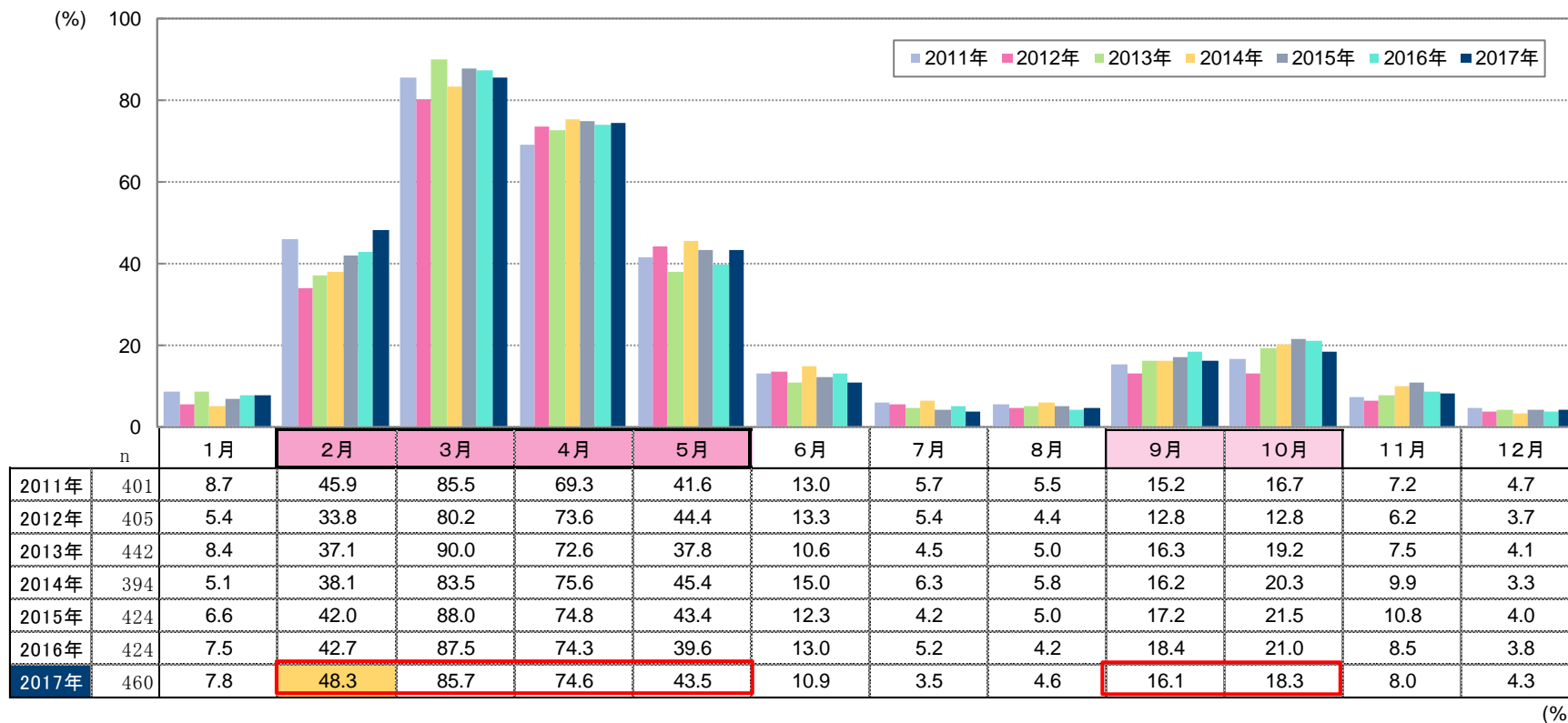
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人(n=460) 2017年



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に症状がある月を聞いたところ、2～5月に症状を感じると回答している人が多く、花粉症の主なシーズンと言える。2017年の結果をみると、その中でも特に「3月」は86%と、シーズンのピークを迎えている。
- ◆「9月」「10月」も16～18%が回答しており、秋に症状を感じる人も一定数いる。
- ◆時系列でみると、2017年は「2月」が48%で、昨年から5ポイント増加している。

Q あなたの花粉症の症状がある時期をすべてお知らせください。(複数回答)

### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



(注)    は2016年より5ポイント以上高い、   は5ポイント以上低い

- ◆症状がある月について、2017年の結果を性別・年代別・地域別にまとめた。
- ◆性別で見ると、男性の方が女性よりも「3月」に症状を訴える人が多く、男性92%に対して女性81%が回答している。
- ◆年代別で見ると、「60～79歳」は他の年代よりも低い月が多いが、「12月」から「2月」の冬の間は逆転し、特に2月は55%と全体よりも7ポイント高い。
- ◆地域別で見ると、他の地域では「3月」に症状を感じるピーク(78～94%)を迎え、「4月」以降減少するのに対し、「北海道・東北」は「4月」の74%がピークで、他の地域と比べて花粉症の主なシーズンがずれている。

## Q あなたの花粉症の症状がある時期をすべてお知らせください。(複数回答)

### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 2017年 性別・年代別・地域別

		n	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体		460	7.8	48.3	85.7	74.6	43.5	10.9	3.5	4.6	16.1	18.3	8.0	4.3
性別	男性	208	8.2	48.6	91.8	78.8	40.9	7.2	4.3	4.3	13.0	13.9	7.2	3.8
	女性	252	7.5	48.0	80.6	71.0	45.6	13.9	2.8	4.8	18.7	21.8	8.7	4.8
年代別	15～29歳	101	6.9	43.6	87.1	83.2	42.6	13.9	6.9	7.9	18.8	20.8	11.9	5.9
	30～59歳	252	7.1	47.2	86.9	74.6	45.2	11.1	2.8	4.4	17.9	20.6	6.7	2.8
	60～79歳	107	10.3	55.1	81.3	66.4	40.2	7.5	1.9	1.9	9.3	10.3	7.5	6.5
地域別	北海道・東北	39	2.6	12.8	59.0	74.4	59.0	28.2	7.7	10.3	23.1	20.5	5.1	2.6
	関東	210	8.1	61.9	93.8	77.1	38.6	8.6	2.9	3.8	11.9	14.3	7.1	4.8
	中部・北陸	78	5.1	34.6	78.2	71.8	55.1	9.0	2.6	5.1	19.2	24.4	9.0	1.3
	近畿	61	6.6	31.1	83.6	78.7	52.5	14.8	4.9	1.6	23.0	21.3	8.2	3.3
	中国・四国・九州	72	13.9	56.9	86.1	66.7	29.2	6.9	2.8	5.6	15.3	19.4	11.1	8.3

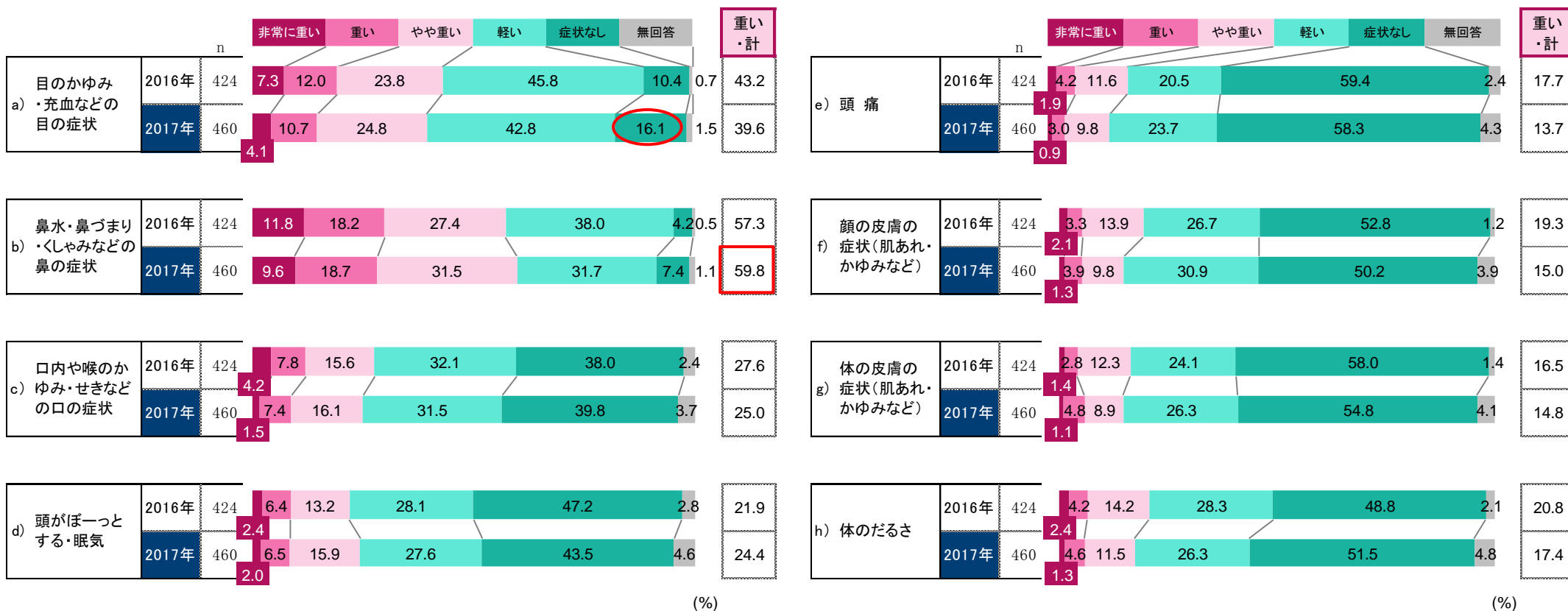
(%)

(注)   は全体より5ポイント以上高い、  は5ポイント以上低い

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、最近1~2週間(※)での症状の程度を聞いたところ、2017年の結果では「鼻水・鼻づまり・くしゃみなどの鼻の症状」が「重い・計」(「非常に重い」~「やや重い」)と回答した人が60%で最も多い。(※)2017年の調査期間は3/3~3/15
- ◆時系列でみると、「目のかゆみ・充血などの目の症状」について「症状なし」と回答した人が2017年は16%で、昨年から6ポイント増加している。

Q 最近1~2週間でのあなたの花粉症の症状について、それぞれその程度をお知らせください。(各単数回答)

### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



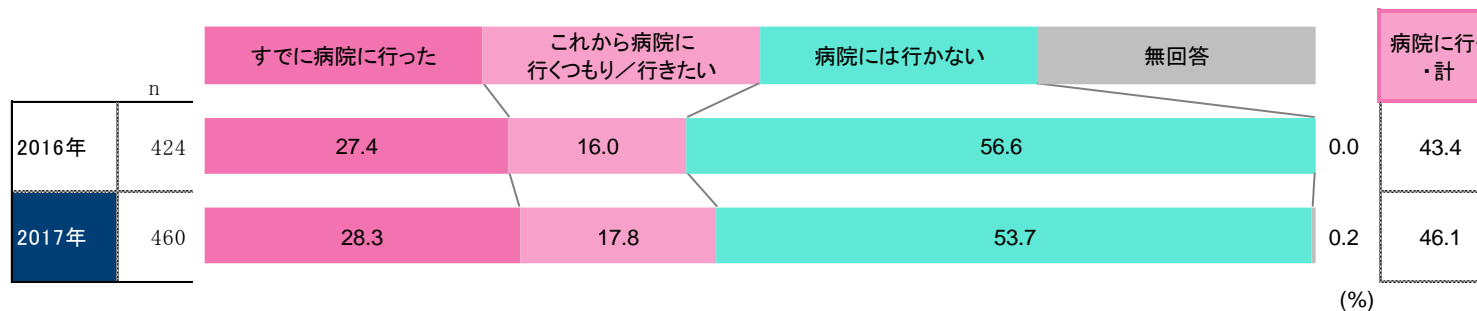
※選択肢は、「1.症状なし」「2.軽い」「3.やや重い」「4.重い」「5.非常に重い」の順で提示した



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、今シーズン病院に行ったかを聞いたところ、「すでに病院に行った」人は28%、「これから病院に行くつもり / 行きたい」は18%で、合わせると46%が「病院に行った」または「行くつもり/行きたい」(「病院に行く・計」と答えている。
- ◆時系列でみると、2017年と昨年とでは大きな変化はみられない。

Q 花粉症/花粉アレルギーの症状に対して、今シーズンは病院に行きましたか。(各単数回答)

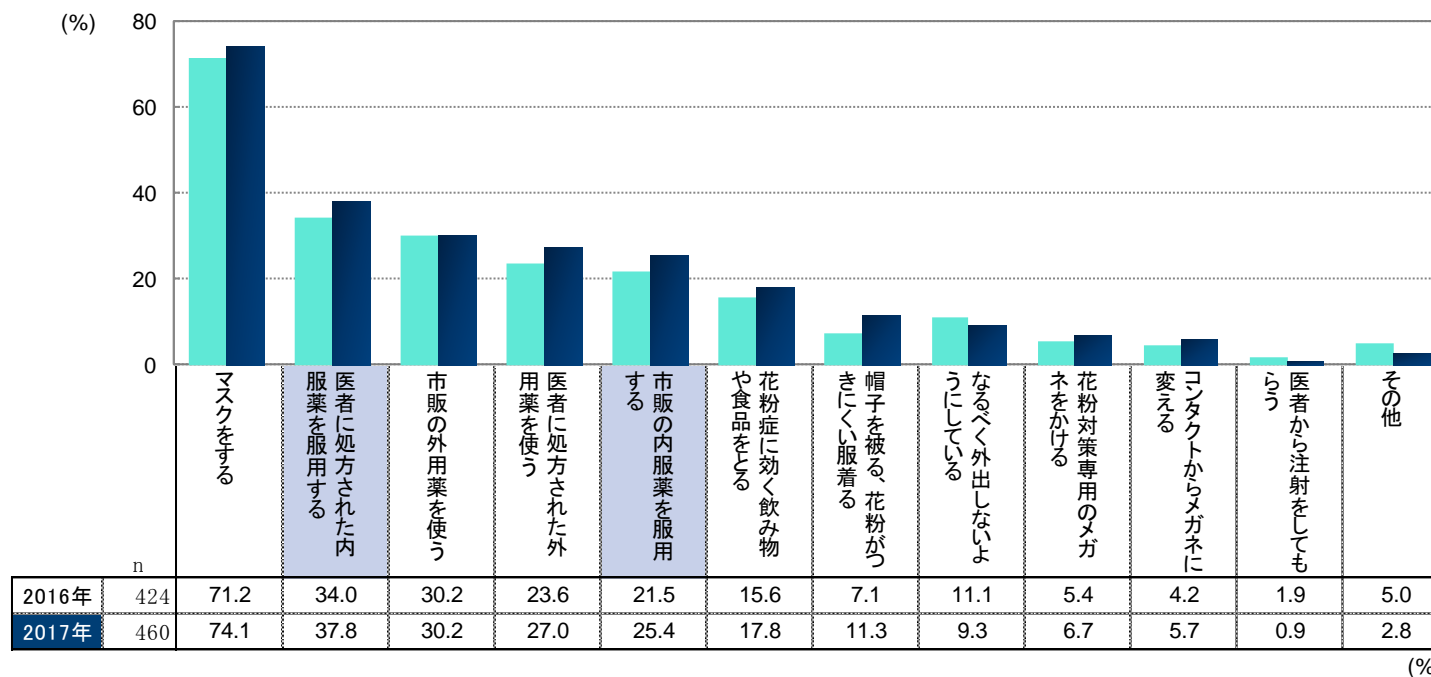
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に行っている対策を聞いたところ、「マスクをする」が74%で他の項目よりも大幅に多い。
- ◆薬の利用について、外用薬では市販品と処方薬に大きな差はないが、内服薬では市販品の25%に対し、処方薬が38%と多くなっている。
- ◆時系列でみると、2017年と昨年とでは大きな変化はみられない。

Q あなたは花粉症対策として具体的にどのような対策を行っていますか。次の中からあてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答)

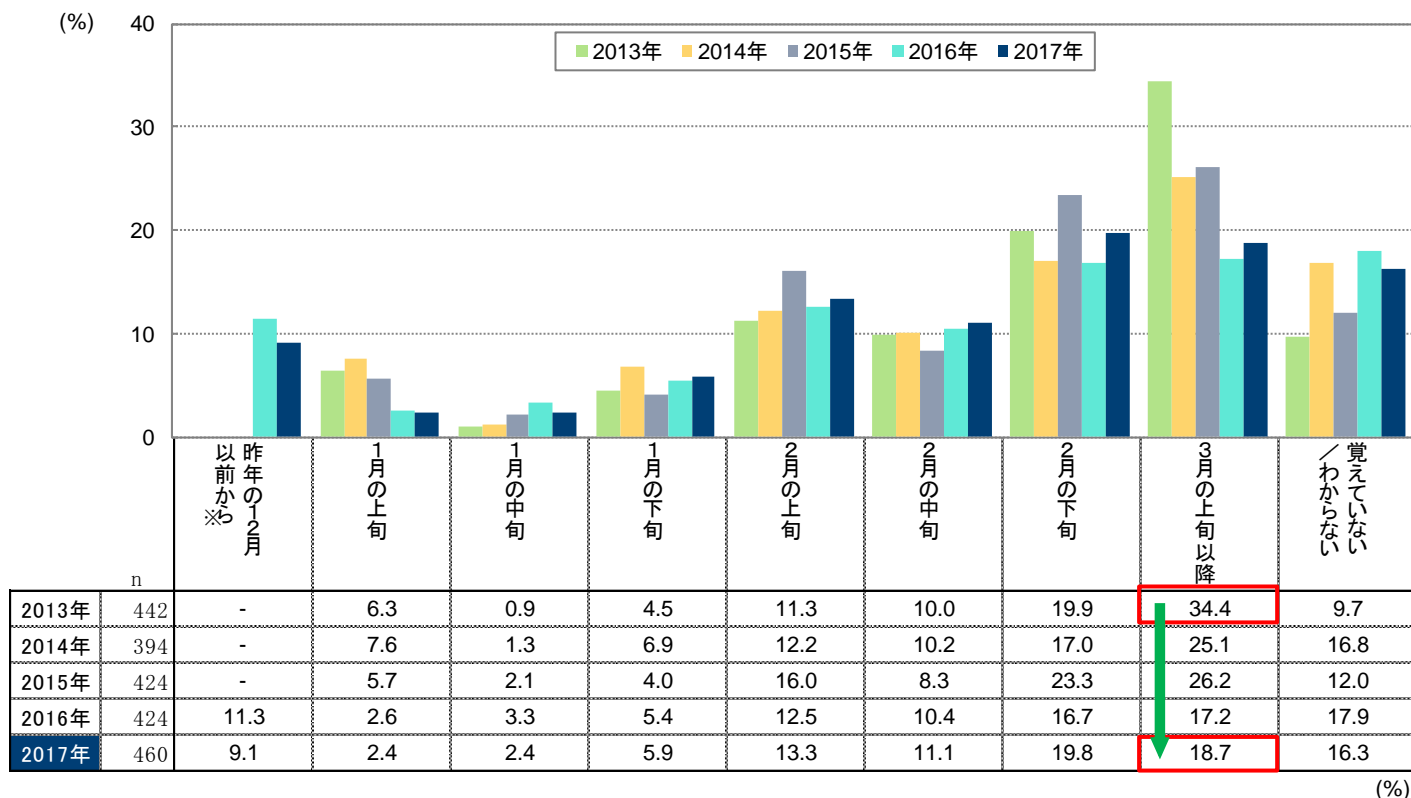
■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列(多い順に並び替え)



- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に花粉症対策を始めた時期を聞いてみると、2017年は「2月の下旬」と「3月上旬以降」が19～20%と多い。
- ◆時系列で見ると、2017年と昨年とでは大きな変化はみられない。
- ◆2013年では「3月上旬以降」が34%いたが、2017年は19%と15ポイント減少しており、花粉症シーズンのピークを迎えてから対策をするという人は減っている。

Q 前問でお答えになった対策は、いつ頃から始めましたか。(単数回答)

■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列

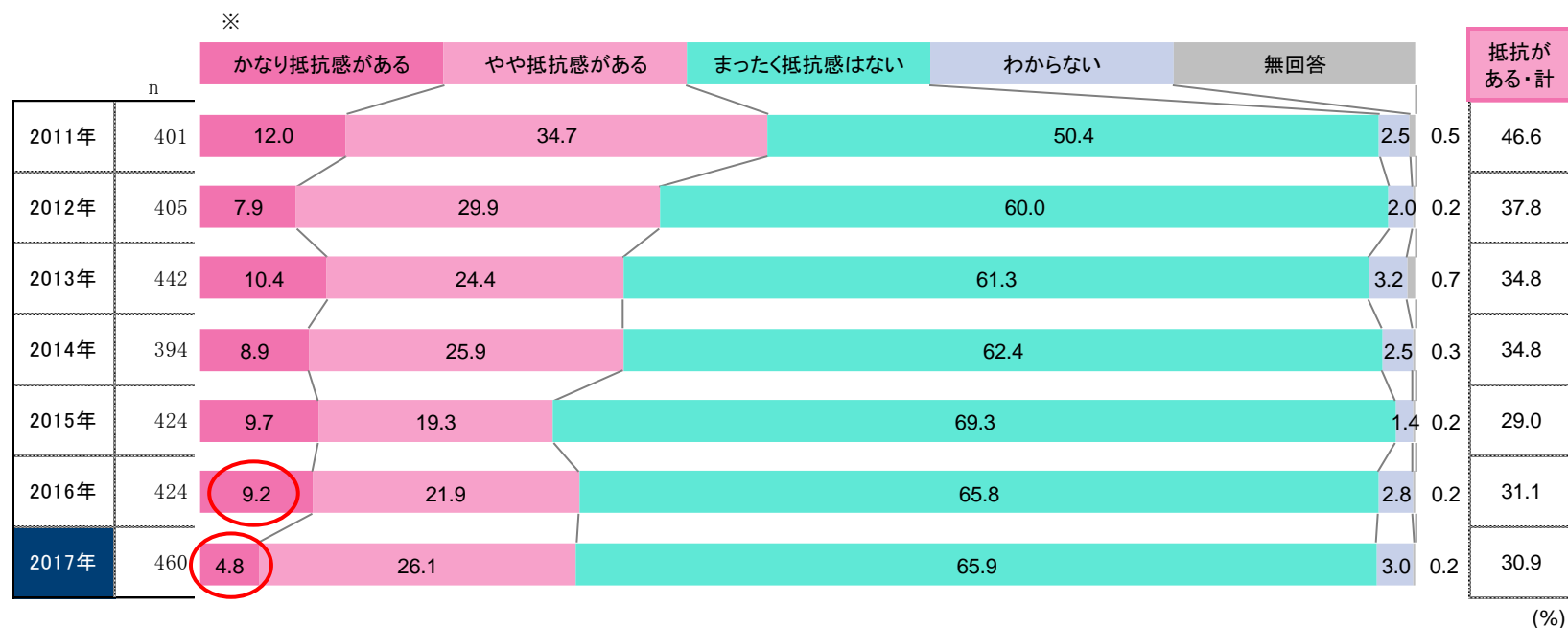


※「昨年の12月以前から」は2016年から聴取

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、マスクをすることに対する抵抗感を聞いたところ、2017年は31%が「抵抗がある・計」(「かなり抵抗感がある」+「やや抵抗感がある」)と回答している。
- ◆時系列でみると、2017年は「かなり抵抗感がある」と回答したのは5%。昨年から4ポイント減少しており、強い抵抗感を示す人はやや減ったものの、「抵抗がある・計」では2015年以降30%前後を推移している。

Q 花粉症/花粉アレルギー対策の1つとして、マスクをつける方法があります。マスクをつけるのは、人目を引いたり、顔を覆うことに心理的な抵抗感を感じる人もいます。あなたは、マスクをすることに対して抵抗感がありますか。(単数回答)

## ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列

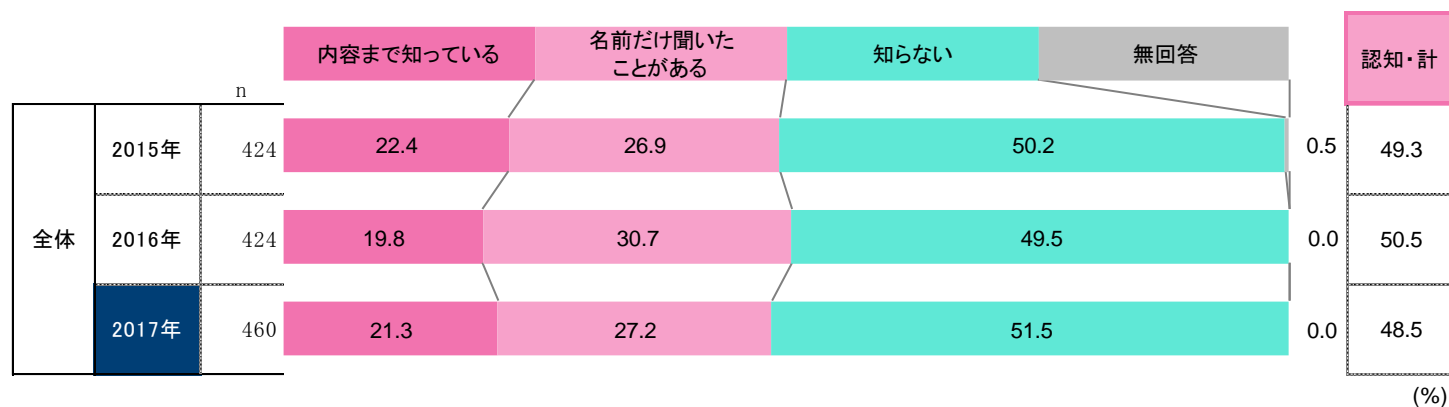


※選択肢は、「1.まったく抵抗感はない」「2.やや抵抗感がある」「3.かなり抵抗感がある」「4.わからない」の順で提示した

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」について簡単に説明した後、この療法に関する認知を聞いたところ、2017年は49%が「認知・計」(「内容まで知っている」+「名前だけ聞いたことがある」と回答している。
- ◆時系列でみると、2015～2017年まで大きな変化はみられない。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

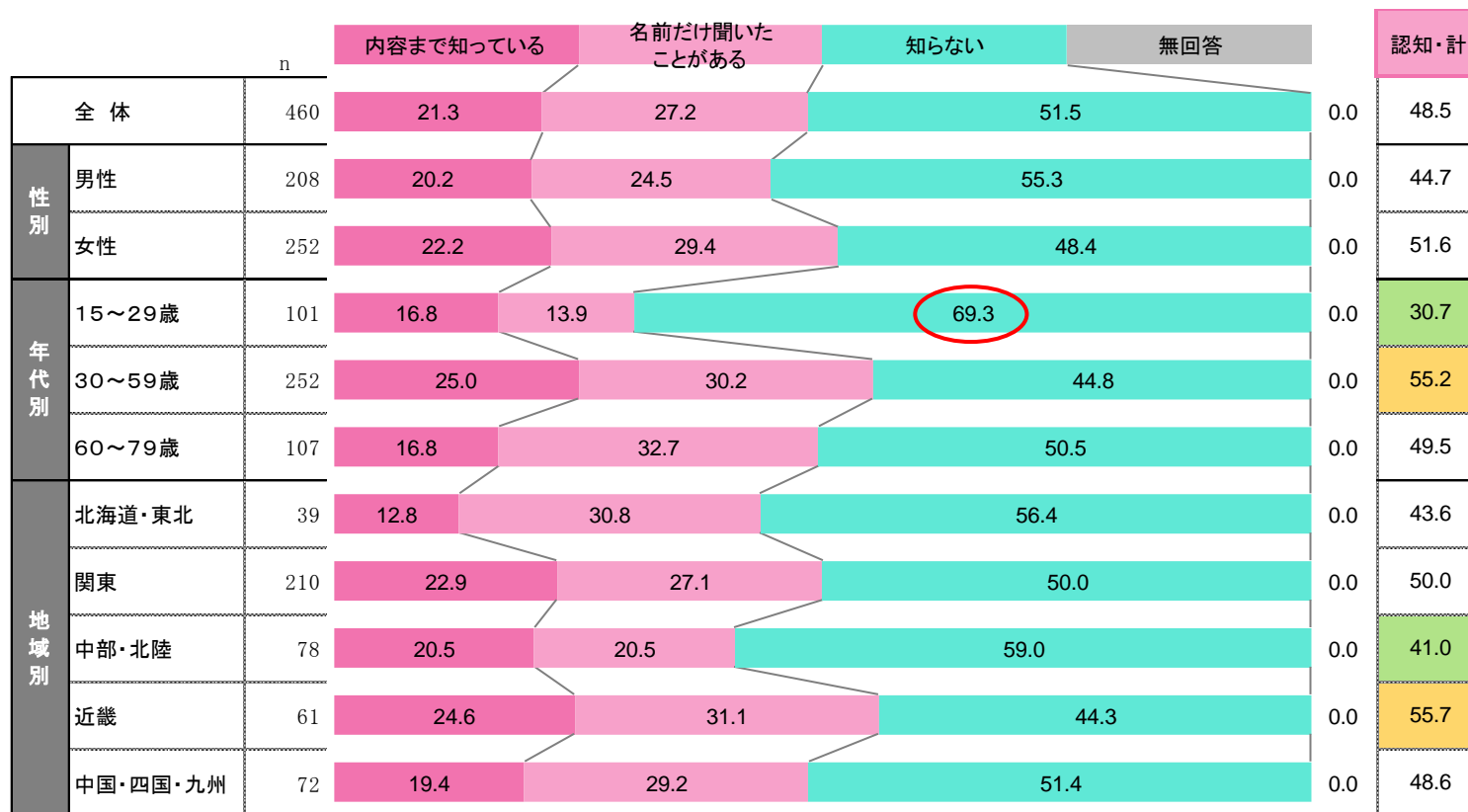
## ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



- ◆ 「舌下免疫療法」の認知について、2017年の結果を性別・年代別・地域別にまとめた。
- ◆ 性別で見ると、女性は「認知・計」が52%となり、半数以上が名前までは知っているという回答。
- ◆ 年代別で見ると、「15～29歳」は「知らない」という回答が69%となっており、他の年代よりも「認知・計」が少ない。
- ◆ 地域別で見ると、「北海道・東北」と「中部・北陸」で「認知・計」が41～44%と低く、特に「北海道・東北」で「内容まで知っている」のは13%に留まる。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 2017年 性別・年代別・地域別



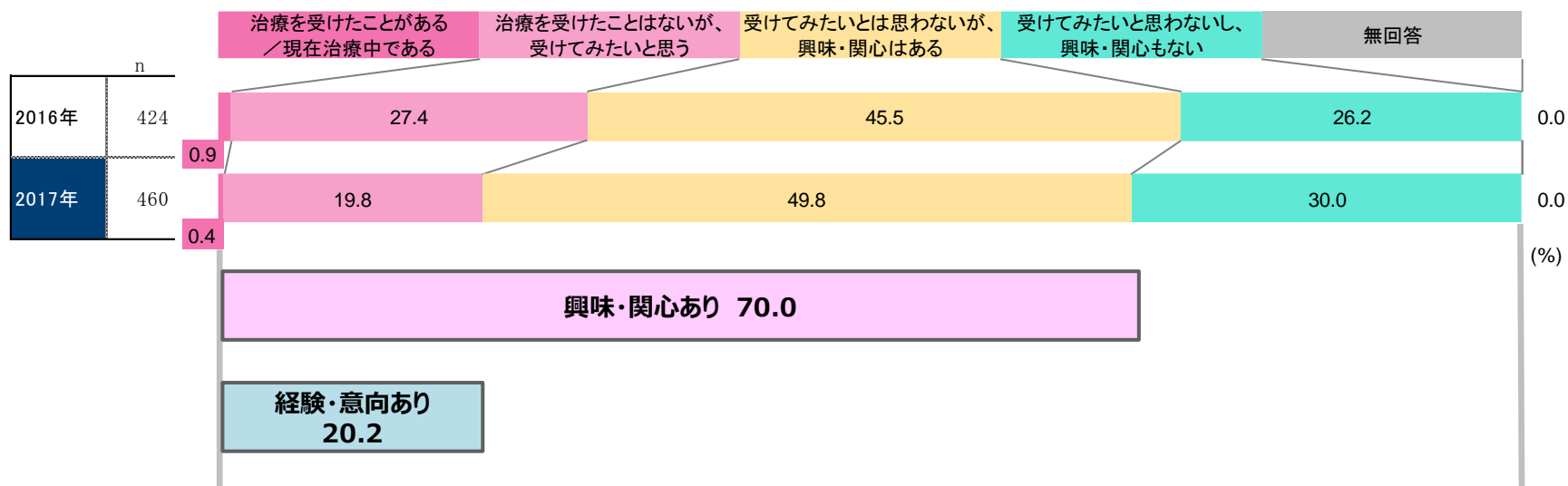
(注) 55.2 は全体より5ポイント以上高い、30.7 は5ポイント以上低い

(%)

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」を受けてみたいと思うか聞いたところ、2017年は、「興味・関心あり」(「治療を受けたことがある / 現在治療中である」～「受けてみたいと思わないが、興味・関心はある」)と70%が回答しているものの、「経験・意向あり」(「治療を受けたことがある / 現在治療中である」～「治療を受けたことはないが、受けてみたいと思う」)は20%であり、興味・関心に留まる人が多い。
- ◆時系列でみると、2017年は「治療を受けてみたことはないが、受けてみたいと思う」が20%で、昨年から7ポイント減少している。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を受けてみたいと思いますか。(単数回答)

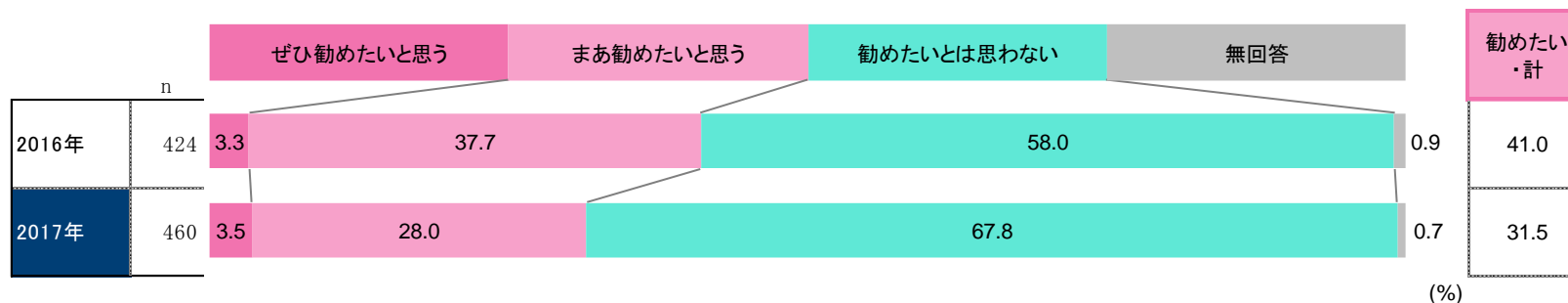
### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



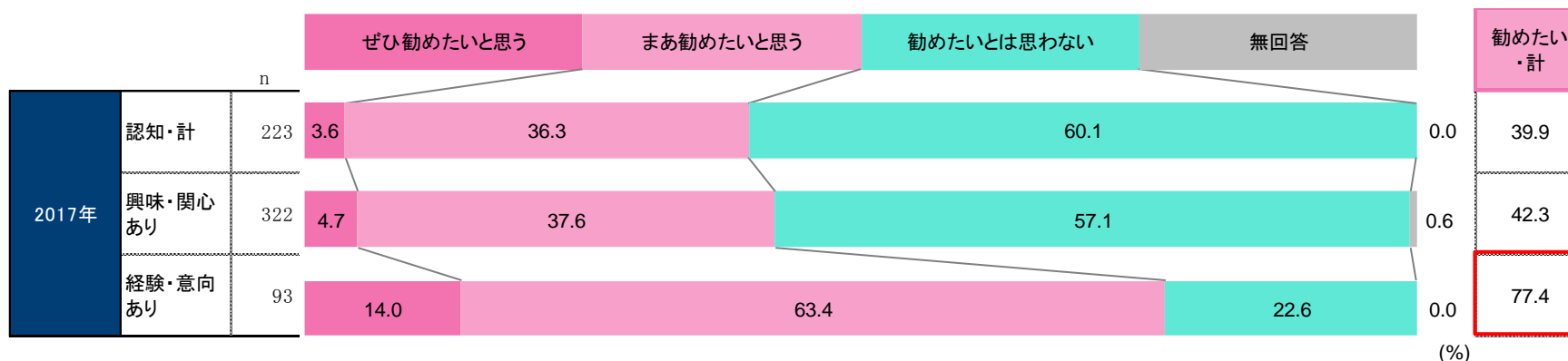
- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に対して、「舌下免疫療法」を家族や友人に勧めたいと思うか聞いたところ、2017年は「勧めたい・計」(「ぜひ勧めたいと思う」+「まあ勧めたいと思う」)が32%で、68 %は「勧めたいとは思わない」と回答。
- ◆時系列でみると、2017年は「勧めたい・計」(「ぜひ勧めたいと思う」+「まあ勧めたいと思う」)が32%で、昨年から9ポイント減少している。
- ◆また、2017年の結果を「舌下免疫療法」の「認知・計」「興味・関心あり」「経験・意向あり」という条件別でまとめてみたところ、「認知・計」「興味・関心あり」「経験・意向あり」のいずれも推奨意向は上がり、特に「経験・意向あり」だと「勧めたい・計」(「ぜひ勧めたいと思う」+「まあ勧めたいと思う」)は77%にもなる。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を家族や友人の方に勧めたいと思いますか。(単数回答)

### ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



### (参考)花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 2017年

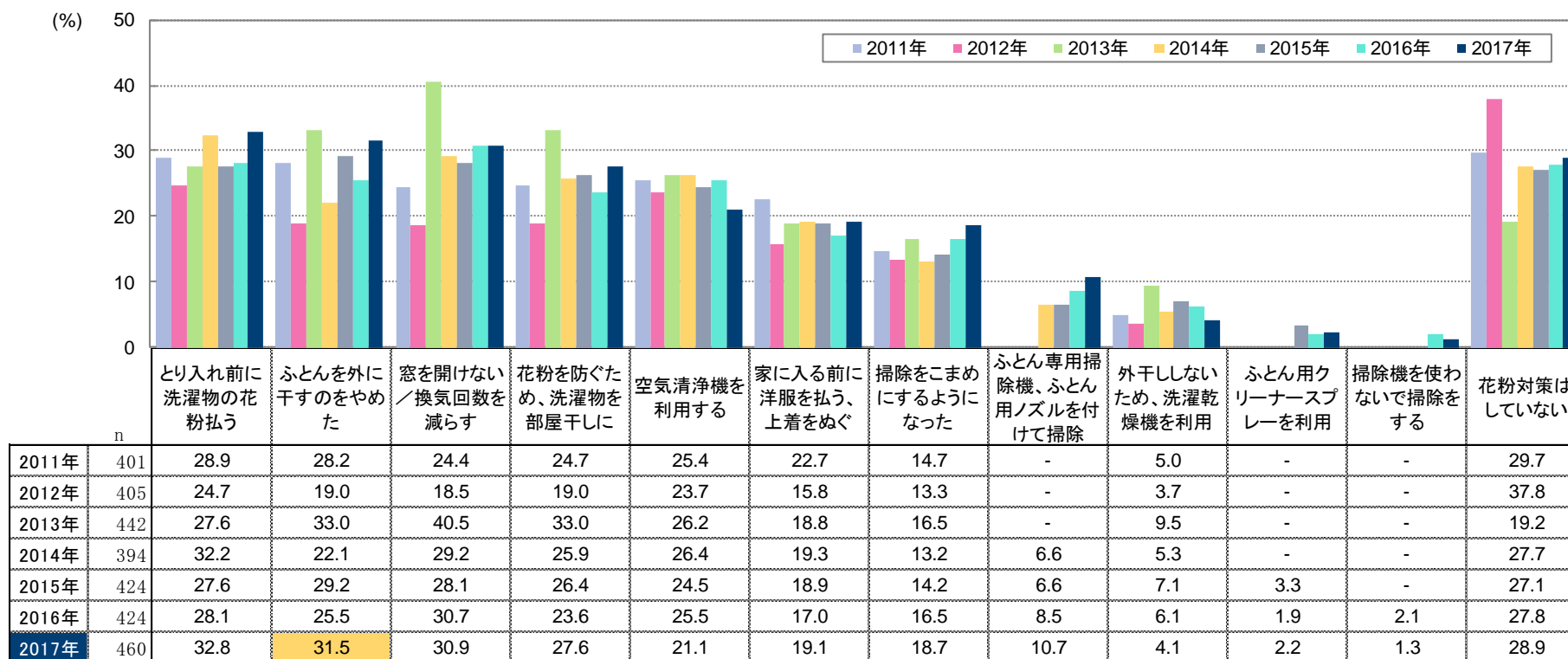




- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策のためにどのような行動をしたかを聞いたところ、2017年で一番多かったのは、「外に干した洗濯物をとり入れる前に、洗濯物の花粉を払うようになった」で33%の人が回答している。
- ◆時系列でみると、「ふとんを外に干すのをやめた」が2017年32%で昨年よりも6ポイント増加している。

Q この3ヶ月くらいの間に、あなたご自身やご家族が、花粉対策のためにとった行動として、下記の中からあてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

## ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列(2017年の多い順に並び替え)



(%)

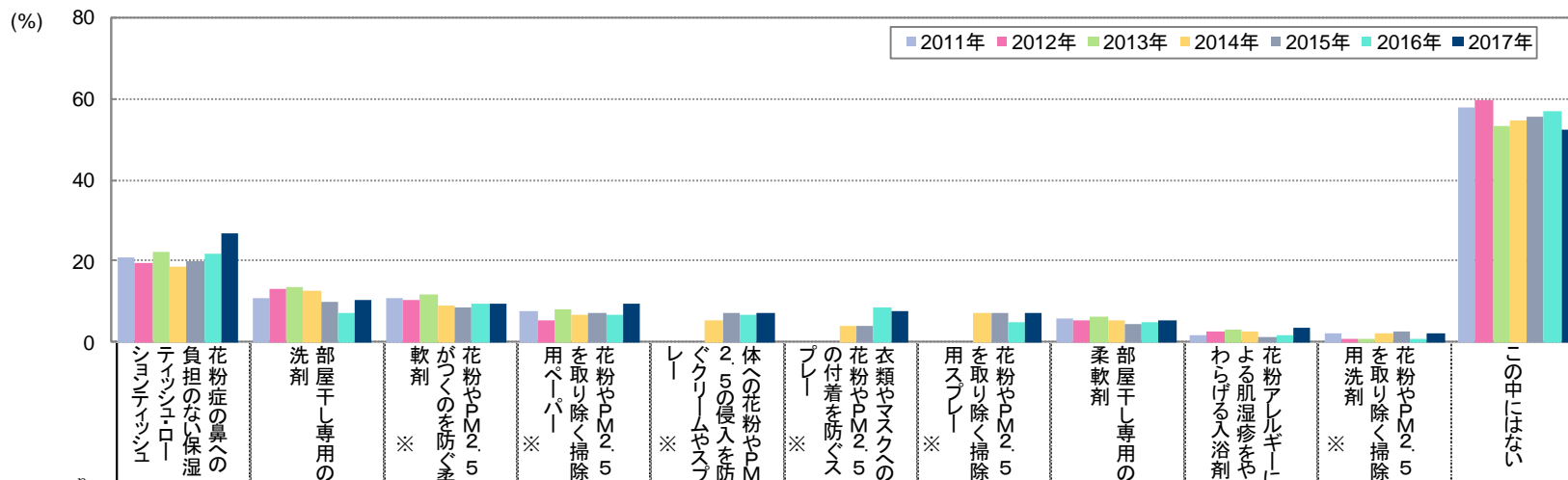
(注)   は2016年より5ポイント以上高い、  は5ポイント以上低い

※「ふとん専用掃除機、ふとん用ノズルを付けて掃除」は2014年から(ふとん用ノズルは2016年から追加)、「ふとん用クリーナーズプレーを利用」は2015年から、「掃除機を使わないで掃除をする」は2016年から聴取

- ◆花粉症/花粉アレルギーの症状がある人に、この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策用にどのような商品を購入したかを聞いたところ、2017年では「花粉症による鼻への負担がかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が27%と最も多く、昨年から5ポイント増加している。
- ◆性別でみたところ、女性で「花粉症による鼻への負担がかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が37%と、男性よりも22ポイント高い。また、何らかの商品を購入している「商品購入者」も女性が58%に対し男性36%で、女性の方が男性よりも花粉症対策を意識した商品購入をしている。

Q この3ヶ月くらいの間に、あなたご自身やご家族が、花粉対策用に下記の商品をお買いになりましたか。  
 次の中から(花粉対策を意識してお買いになったものだけ)あてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

## ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列



性別	2017年	商品購入者
男性	14.9	35.6
女性	36.5	57.5

(注)      は2016年より5ポイント以上高い、     は5ポイント以上低い

※の選択肢では、2016年より「花粉やPM2.5を…」と変更した

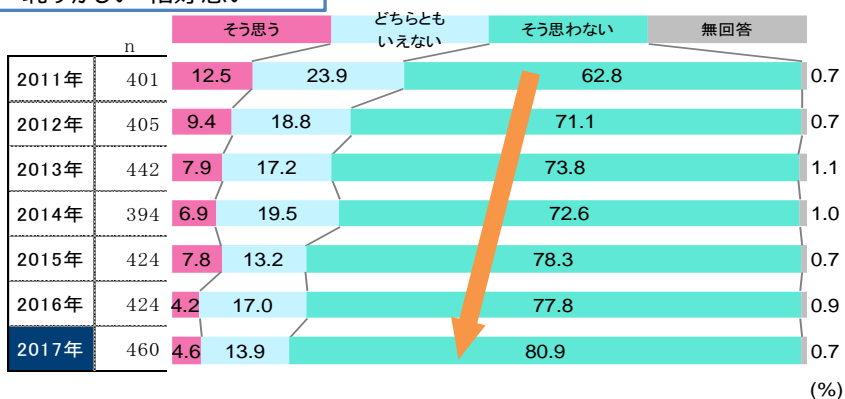
(%)

- ◆ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人にマスクを付けることについて聞いたところ、2017年は「恥ずかしい・格好悪い」「不潔に感じる」「花粉症予防に効果はない」で「そう思わない」が61~81%と否定する人が多い。また、「呼吸しにくい」については「そう思う」が58%で肯定する人が半数を超えている。
- ◆ 時系列でみると、「恥ずかしい・格好悪い」は継続的に「そう思わない」が増加しており、2011年は63%だったのが、2017年は81%になっている。

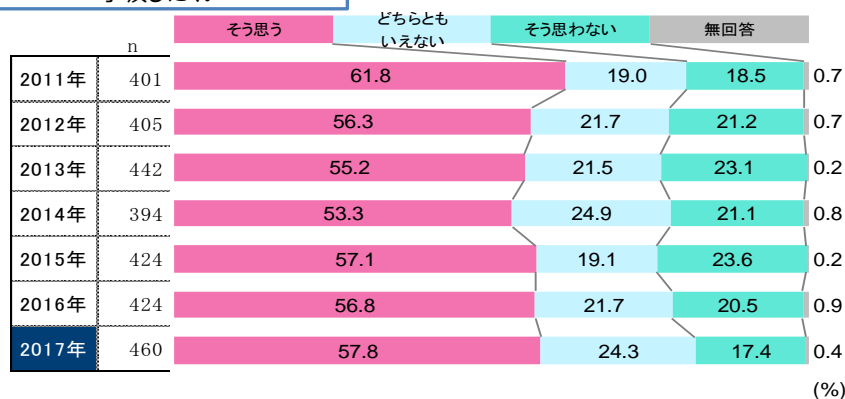
Q 「マスクを装着すること」について感じることを、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の中からお知らせください。(各単数回答)

## ■ 花粉症/花粉アレルギーの症状がある人 時系列

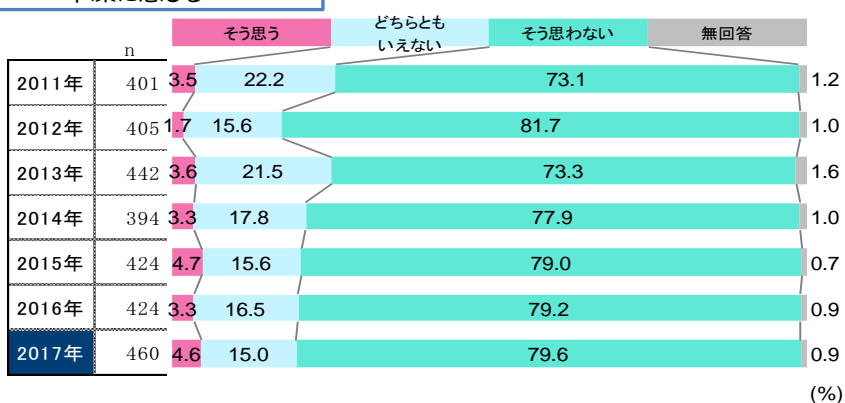
### 恥ずかしい・格好悪い



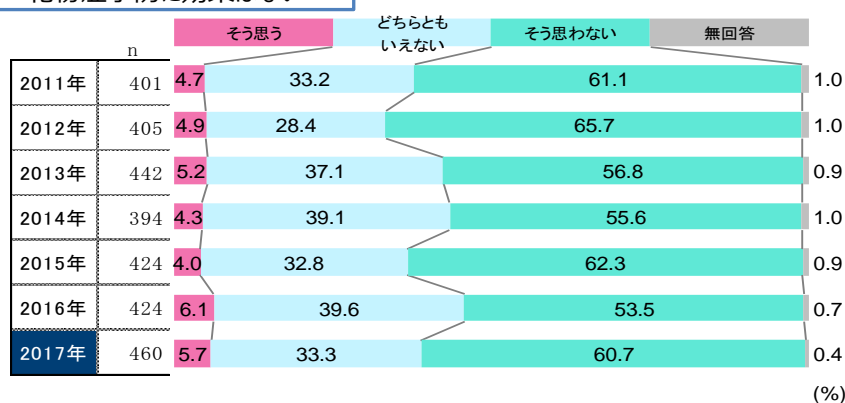
### 呼吸しにくい



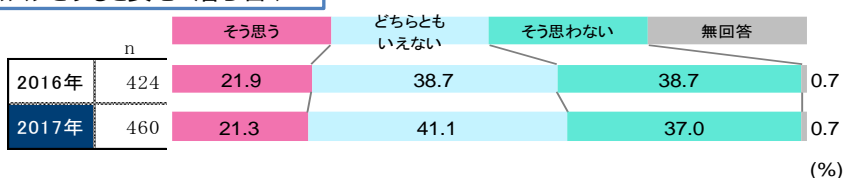
### 不潔に感じる



### 花粉症予防に効果はない



### マスクをすると安心・落ち着く



## 調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

## 調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人  
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

## 抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

## 調査期間

- 2017/3/3～3/15(過去調査は2003年、2010年～2016年いずれも3月に実施)

### NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

**①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。**

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

## 《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

**連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp**

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、  
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**